

桂坂山の手倶楽部だより

(第14号)

平成20年11月1日発行
桂坂山の手倶楽部だより編集委員会



役員会だより

1. 第1回合同会議開催(8/30)

会議に先立って会長より、同好会の活動が新規会員募集の決め手となるので積極的な活動をお願いしたいし、今年には自治連20周年に当たり山の手倶楽部も各行事に協賛しているため協力をされたい。また、大枝交番の相談員高野氏より「振り込め詐欺」の話がありますので、他人事とは思わずに聞いて下さい。との挨拶がありました。

- 会議は(1)全体活動、同好会活動、区老連活動の報告がありました。
(2)「合同作品展」の実施計画のつき発表がありました。
(3)「ハイキング同好会」の立ち上げが承認されました。

市・区老連だより

1. 市老連主催のG.G大会開催

体育委員 岡村 英明

10月8日岩倉グラウンドで行われた市老連主催G.G大会に、西京区老連の代表選手20名に桂坂学区から青山正男さん、伊藤光男さんが出場されました。お二人とも上位入賞はかないませんでしたが、日頃の練習成果を存分に発揮される健闘ぶりで、注目をあつめました。青山さん、伊藤さんお疲れさまでした。

なお、区老連主催親睦G.G大会は10月20日嵐山東グラウンドで開催され、桂坂学区から13名が出場しました。またG.G同好会秋の遠征を10月24日綾部市スポ・ツセンタ・東野で開催、G.G競技を楽しみました。

2. 若手委員会活動開始

若手委員 中口 利秋

高齢者が増える一方で、低迷が続く老人クラブの会員を増やそうと、市老連では60歳から74歳までの若手をつくる委員会を立ち上げられました。

西京区老連では組織の活性化、若手の加入を意識した活動として、若手委員会主催による第1回ベタンク大会を10月30日(木)境谷公園にて8時30分より30分・ム90名の参加で実施致しました。桂坂山の手倶楽部からは3チ・ム9名が参加致しました。

今後、定期的に実施を予定致しておりますので、多数の参加をお願い致します。

3. 義援金・物資提供のお礼

奉仕委員 高木 紀子

本年度も多大のご協力をありがとうございました。おかげ様で義援金23,729円と使用済切手も数多く集りました。これらは、区老連でまとめられて、区内16ヶ所の施設へそれぞれ2万円づつ訪問贈呈されました。今後とも、ご理解ご協力をよろしくお願い致します。

4. 区老連主催の「カラオケの集い」開催

福利厚生委員 西澤 四郎

来る11月8日(土)午後1時より、ふれあい会館で区老連主催の「カラオケの集い」が開催され、西京区の老人会より38名の出演が予定されています。当倶楽部からはカラオケ同好会の樋口アヤ子さん、大森正之さん長谷川文彦・洋子さん出演をお願いしています。是非、当日皆様のご来場をお待ちしています。

5. 市民すこやかフェア、文化芸能祭と作品展を終えて

文化委員 中口 利秋

市老連主催で9月6日・7日の両日京都市勧業館みやこメッセで作品展が開催されました。西京区老連より82点が出展され、そのうち山の手倶楽部からは絵画、俳句など19点が出展されました。観賞された皆様より大変

高い評価を受けていました。出展された皆様、観賞して下さいました皆様どうもありがとうございました。

西京区老連主催の第18回文化芸能祭と作品展が9月13日(土)ウエスティで同時に開催されました。作品展は区老連より164点を展覧され、山の手倶楽部より絵画11点、書道4点、俳句7点、写真5点計27点が展覧されました。観賞人数640人の多数の観賞をいただきました。



また、文化芸能祭では、山の手倶楽部の川上英子さんがプロ顔負けの名司会で幕を開き、桂坂からは竹田未葉子さん他9名で津軽三味線・小田流曲弾バ・ジョン、のど自慢の鹿取珠江さんが「津軽のふるさと」、伊藤光男さんが「秋保の宿」を美声で披露されました。



トリにコ・ラス同好会の皆様37名が出演されました。演目は「四季のメドレ・より・歌よありがとう」を合唱され、新調されたピンクのブラウスにシルバ・のスカ・トがより一層のはなやかさを増していました。最後に「きらきら星・ふるさと」をペンライトの揺れる場内で観客の皆様と合唱し、楽しいひとときをすごしました。

今年は昨年同様、最後まで満席になり大成功で終えることが出来ました。およそ来場者800名、多くの出展出演された方々、とりわけ山の手倶楽部の皆様方には観賞観劇のご声援ありがとうございました。



同好会だより

1. 日帰り探訪同好会

同好会 責任者 木村 喜代子

年1回の日帰りバス旅行です。今回は10月3日に奈良方面へ、お天気にも恵まれ絶好の秋日和の中総勢40名の参加者で行って参りました。まだ紅葉には少し早かったので人出も少なく奈良公園周辺は、ゆっくり散策を楽しめました。

今回の行程は、桂坂を出発して室生寺へ直行、女人禁制の高野山に対して、女人も参詣できる「女人高野山」の名がついたそうです。シャクナゲ、桜、紅葉の美しさが名高いお寺です。次は、お楽しみのお食事です。風情あふれる割烹「東吉」にて、秋の旬の味、柿の葉ずし、天ぷら等々美味しく楽しんで頂けたのではないのでしょうか。食事の後、東大寺大仏殿、春日大社を巡り旅行は終了致しました。奈良は歴史と文化の宝庫と言えます。

来年の日帰り探訪には、皆様お誘い合わせの上多数の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

2. ハイキング同好会

同好会 担当者 内田 圭子

現在会員数28名。第1回ハイキングは、手はじめに足ならしと云うことで、桂坂中の各公園巡りでスタート。公園や道中の豊かな自然に包まれて、桂坂の素晴らしさを再認識する事しきりでした。天蓋公園で休憩を取った時、会員さんの方よりの果物のサ・ビスを受け、思わず頬の綻ぶ一幕もあり楽しい会となりました。約6kmを2時間半かけて歩きましたが、参加者一同心地よい汗をかき完歩いたしました。



本年度は、11月と3月に桂坂の公園巡りを予定しています。来年度には、いよいよ桂坂の外へ出かけるプランを考えて居ります。行程や時間等あまりハードにならない様考慮しながらハイキングらしいハイキングにと思っています。酷寒酷暑は避け気候のよい季節に実行し、勿論、桂坂公園巡りも年2回(春と秋)素敵な桜ともみじを愛で、中央公園にて皆様と会食する楽しみもある楽々ハイキングにいたしましょう。なお、行先についてご希望がありましたら、是非申し出て下されば幸いです。

3. 社交ダンス同好会 ~社交ダンスの楽しさ~ 同好会 責任者 岡 頼男

桂坂山の手倶楽部の社交ダンス同好会は、平成17年10月に藤井先生の指導のもとに発足して3年が経ちました。みんな上手に踊れるようになって、楽しくレッスンしています。現在は、毎週水曜日の午前中ス・パ・新林Aコ・プの2階を会場として、プロの石川先生の指導を受けてレッスンしています。会員は現在28名ですが、残念なことに男性会員が少なくて困っています。

社交ダンスはペアで踊るスポ - ツですから、男女同数が望ましいのですが、どうぞ興味のある男性の方は、一度見学に来て下さい。社交ダンスは、若さを保つのに最適なスポ - ツだと思っています。

年に2回のダンスパ - ティ。また、年に1 ~ 2度外部のパ - ティにも参加しています。会員の中にはK B Sホ - ルの日本ボ - ルル - ムダンスに出演された方もおられます。電話をお待ちしています。3 3 3 - 3 4 1 0、岡まで。

その他のお知らせ

1. 小学校「朝の声掛け活動」に参加して 第1倶楽部 加藤 元子

9月1日から5日まで、「見守り隊活動」として防犯帽子をかぶりチョッキを着て、桂坂小学校の表門で登校してこられる生徒さんたちに今日も1日、元気に、勉強に励まれるよう「朝の声掛け運動」に始めて参加させていただきました。皆さんが石段を上がってこられる頃合いをみはらかって「おはようございます」と声をかけてあげます。すると中には照れくさいのか、消え入るような小さな声または大きな声で、応えて下さるなど、さまざまな生徒さん達の表情がみられます。それを見ると、こちらの気分も爽やかになります。

こうして毎日、笑顔で、1日を楽しく過ごされることが大切でしょう。私もまた、機会があれば、参加させていただきたいと思います。



2. 「ふれあいト - ク」の開催 研修委員 松本 初次

9月16日、ふれあい会館において「果物の話あれこれ」の演題で、表題の研修会を開催致しました。京都青果合同(株)の市丸部長より、果物の機能性や見分け方、保管方法等について興味深いお話を聞かせて頂きました。

今回は、さつき自治会の長谷川文彦さんの紹介で企画したもので、長谷川さんの口利きで果物のお土産も準備して頂き、参加者の皆様にご満足頂けた研修会となりました。果物は、人間にとって野菜同様非常に大切な食べ物で、肉食化が進んでいる昨今特に意識して摂取する必要があるとのことでした。そして、果物は野菜と違ってほとんど加工することなく食べられる利点もあるので、季節ごとの旬の果物を大いに楽しみたいものと思いました。お世話頂きました長谷川さんに、お礼を申し上げます。



3. 「桂坂ほっとラインの会」本格始動する ほっとライン担当 青山 正男

8月より、お手伝いの依頼受付を開始致しております。8月、9月で4件のお手伝い依頼がありました。4件共受理し、お手伝いをさせて頂きました。ご依頼内容は、草抜き、植木の剪定、窓ふき、換気扇の清掃等でありました。依頼者の方々は「今までは出来たことも、病気や加齢等で出来なくなって来ており、いつも大変気になっていました」とのこと。お手伝いが終わると、皆さん本当に、ほっとされていました。お手伝いに参加されたボランティアの方々も「もっともっとお手伝いをしたい」と声があがっていました。気になること、困っていること等ありましたら、ご遠慮なく。

申し込み窓口 : 田中健一 3 3 2 - 1 5 6 5 か青山正男 3 3 3 - 2 0 5 1 に、ご一報下さい。

4. 第16回カザラッカコンサ - トに出演して (桂坂小学校祝「二十周年記念」10月18日)

コ - ラス同好会 山岡 左知子

今年度は、桂坂小学校設立二十周年をお祝いする場とも重なり、コンサ - トは世代の交流祭と音楽の集いで趣向を凝らした様々なイベントが盛り沢山ありました。山の手倶楽部同好会も音楽の出会いを通じて参加させて頂き、感動と勇気そして幸せを覚えると共に、思い出に残るコンサ - トになりました。まさにカザラッカコンサ - トは芸術の秋にふさわしい贈りものでもありました。大枝中学校の吹奏楽部の演奏は素晴らしく、いつまでも心に響き熱く心に感動を頂きました。

次は、今年度の集大成としてコ - ラス同好会の出演です。曲は歌よありがとう。四季のメドレ - 「懐かしい日本の春」です。一時の安らぎと心の癒しになればとの想いをこめて皆様に聴いて頂きました。桂坂小学校P T A

山の手倶楽部今後共より以上の親交を深めたく思っております。ご尽力賜りました方々に厚くお礼申し上げます。

5. 合同作品展開催のお知らせ

作品展担当 八木 兵司

今年度は、桂坂自治連合会が発足して20周年を迎え、各種の記念行事が行われています。定例となっている当倶楽部の作品展は、今年度は当記念事業の一環として、地域女性会、社会福祉協議と共催で「合同作品展」として下記の要領で開催する予定です。

従って、作品展の実行予算は自治連合会で準備して頂き、会場もふれあい会館1階を借り切って、山の手倶楽部や地域女性会等の皆さんの多くの作品を展示することにしています。出展される皆さんは、この合同作品展に備えて日頃からの研鑽の成果を觀て頂こうとそれぞれ自慢の作品を準備されています。書道、絵画、俳句、写真の各同好会の皆さんの作品の他、一般会員の皆さんの個性豊かな作品も出展されます。

皆様お誘い合わせの上是非お越し頂き、ご鑑賞下さいますようお願い申し上げます。尚、一日目先着100名様に、当倶楽部の有志が焼いた竹炭を、お持ち帰り頂くことにしております。

日	時	平成20年11月2日(日) 3日(祝)	10:00~16:00
場	所	ふれあい会館 第1、第2、第3研修室	
出	展	山の手倶楽部、地域女性会、社会福祉協議会の皆さん	

会員投稿欄

- 竹炭焼きを体験して - 第4倶楽部 岡村 英明

「炭焼き」について興味や予備知識があったわけではない。

「野鳥遊園に炭焼窯を作る計画があるので、山の手倶楽部からお手伝いが要る・・・」と、八木さんの言葉に素直にならずいたのが、今年の春でした。

炭焼窯(ドラム缶に、焚口・煙突・竹材(竹炭)の出し入れ口を加工)を埋める作業では、馴れない山土運びと杭打ちに、日頃の運動不足と年齢を実感させられる。初回、竹材の伐り出しは真夏の藪の中。流れる汗に群がる藪蚊の大群。2回目は大雪の中。竹のしなりが肩に食い込み、足元がふらつく。長さ40Cm、割った竹材を炭焼窯に詰め込み覆土して点火。焚口に向かって火を燃やす。簡単そう

で難しい。根気と工夫。

火の回りが順調なことを確認しながら弁当をひろげる。

一缶のビールがのどをうるほす、至福のひと時。

点火して約6時間。温度計の目盛りが200度に近い。煙の色も青から透明になったようだ。五感を研ぎ澄ませて、窯の口を塞ぐ頃合いをはかる八木さんの静かな気合い。決断の一瞬、快い緊張感。覗くことのできない窯の中は、90Kgの竹材による灼熱の世界。1週間先には、黒く光る竹炭が目の前に現れるのか?

「炭焼き」は、非日常性の時間に身をゆだねる幸せを感じさせてくれました。私は、もうあと何回か、炭焼きを続けさせてほしいと思っています。



今年5月3回目の竹炭を焼き

お知らせ ~ 8月以降会員になられた皆様~

大串 和子さん(けやき)コ-ラス同好会 : 岡村 重臣さん(さくら)G.G同好会

木下 幸代さん(にれのき)社交ダンス同好会 : 志賀 孝子さん(ひいらぎ)

皆様のご活躍を期待しています

皆様の投稿をお待ちしています。

編集委員: 八木 兵司 田中 健一 岡村 英明 安楽 つねみ 西澤 四郎